

(伊佐市)

住友金属鉱山(株)の電子材料・量産拠点として設立され40年。長年培われた技術力を背景に貴金属リサイクルや地球温暖化に対応する環境に優しい材料を提供。

当社は、住友金属鉱山(株)の電子材料・量産拠点として1981年(昭和56年)、牛尾金山の跡地(伊佐市)に設立され、40年が経過しました。「地球及び社会との共存を図り、信頼される企業を目指す」をスローガンに、お客様のニーズを先取りしたQCDの達成を目指しています。

長年培われた技術力を背景に、地球温暖化に対応する環境に優しい製品を提供。金山時代からの製錬技術による貴金属リサイクル、スマートフォンの通信機器基板材料や自動車の窓材に使われる機能性インク等、身の回りにも貢献しています。



代表取締役 齋藤 知之

会社概要

2024年1月1日現在

■所在地 〒895-2501
鹿児島県伊佐市大口牛尾
1755番地2

■代表者 代表取締役
齋藤 知之

■設立 1981年(昭和56年)10月1日

■TEL 0995-22-7511

■資本金 10億円

■FAX 0995-22-8579

■従業員数 392人

■E-Mail

■事業概要 貴金属のリサイクル、結晶材料製造、機能性インク材料製造

■URL <http://www.ohkuchielectronics.co.jp>

■主要製品 廃基板などから貴金属の抽出・回収、通信機器用基板ウエハー、熱線遮蔽・赤外線吸収用インク材

有限な地球資源を製錬技術力で余すことなくリサイクル

半導体などの電子部品には、微量の金・銀・白金・パラジウム等の貴金属が使用され、半導体の製造工程から発生するめっき液やスクラップも貴金属を含有しています。また、歯科材料や仏具にも貴金属が多く使用されており、通常の鉱石より平均品位は高くなり、貴金属リサイクル部では、金山時代から永年培われた技術力により、スクラップ原料の性状に応じて、これらの貴金属を乾式もしくは湿式工程で効率よく回収しています。

回収された金・銀・白金・パラジウム等は住友金属鉱山(株)東予工場へ出荷され、精製後は金・銀地金インゴット等として再利用されています。



電子材料のスクラップ原料

通信用基板ウエハー生産でワールドワイドに展開中

当社の結晶材料であるLithium Tantalate(LT)、Lithium Niobate(LN)は、近年急速に需要が高まっているスマートフォンなどの通信機器に欠かせない、通信帯域用SAWフィルターの基板材料として使用されています。

また当社は、住友金属鉱山(株)グループの一員として、同材料を製造している他2拠点(北海道、青梅)と合せ、世界的に高いシェアを有しています。当社の結晶材料部では、結晶インゴットの育成から基板(ウエハー)研磨鏡面加工まで一貫生産体制のもと、ワールドワイドな展開をしています。



今や欠かせない通信機器の中に

カーボンニュートラルで注目度高い機能性インク材料

当社のインク材料部は、ナノ粒子の製造技術とそれを溶剤に分散する技術があります。当社の近赤外線吸収材料は、可視光線に対する高い透過性と近赤外線に対する強力な吸収能を併せ持つ材料です。例えば自動車や建築物の窓材に適用することで、太陽光に含まれる近赤外線のエネルギーを効率良くカットし、明るさを保ちながら内部温度の上昇を抑制できるため、電気代削減につながり地球温暖化対策として脚光を浴びています。既存の遮蔽機能では新幹線や飛行機の窓、農業用ビニルシート等に使用されていますが、新たなる蓄熱機能では繊維製品への用途開発が進み、拡大される見込みです。



遮蔽から蓄熱へ用途開発が伸展